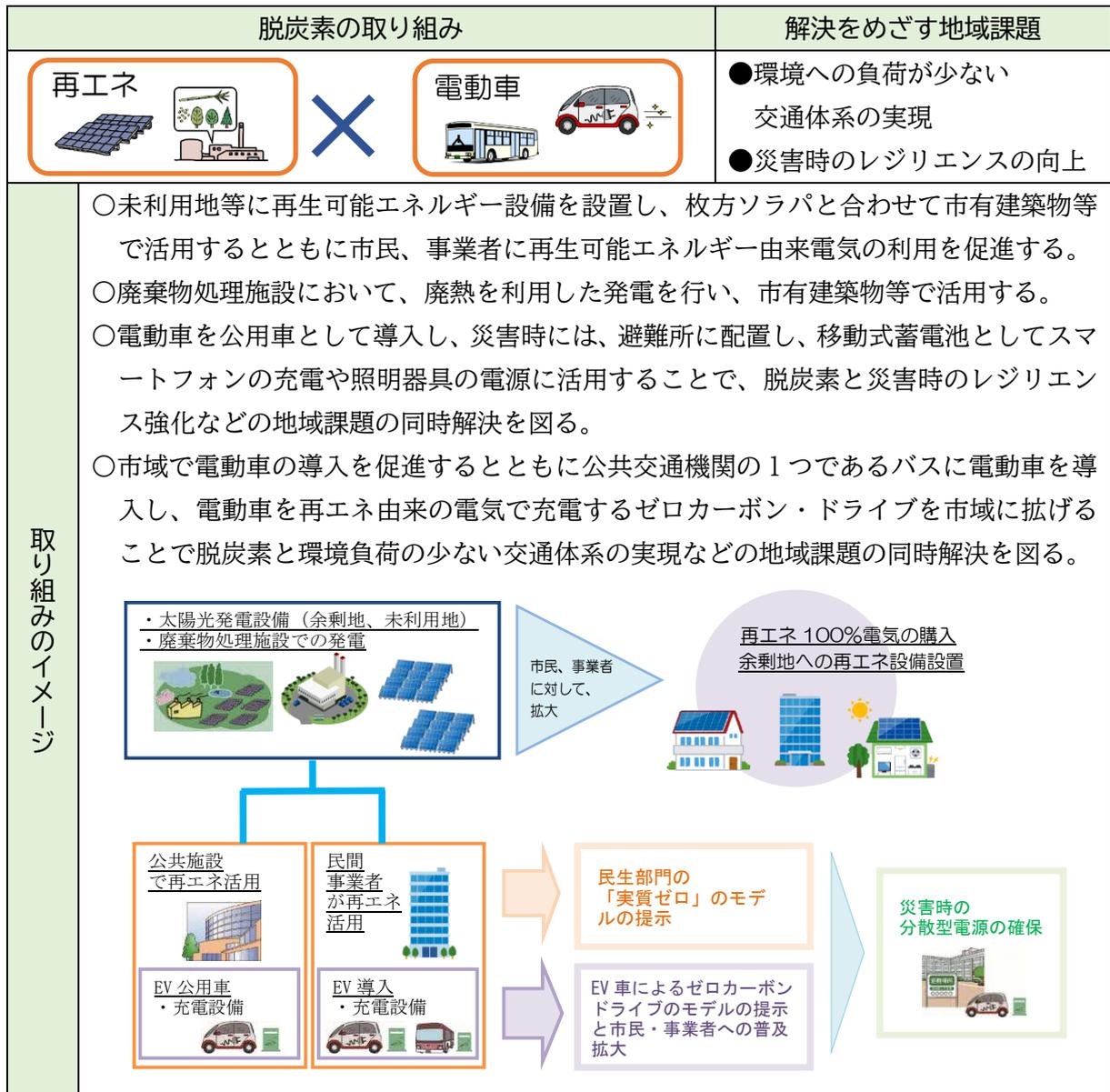
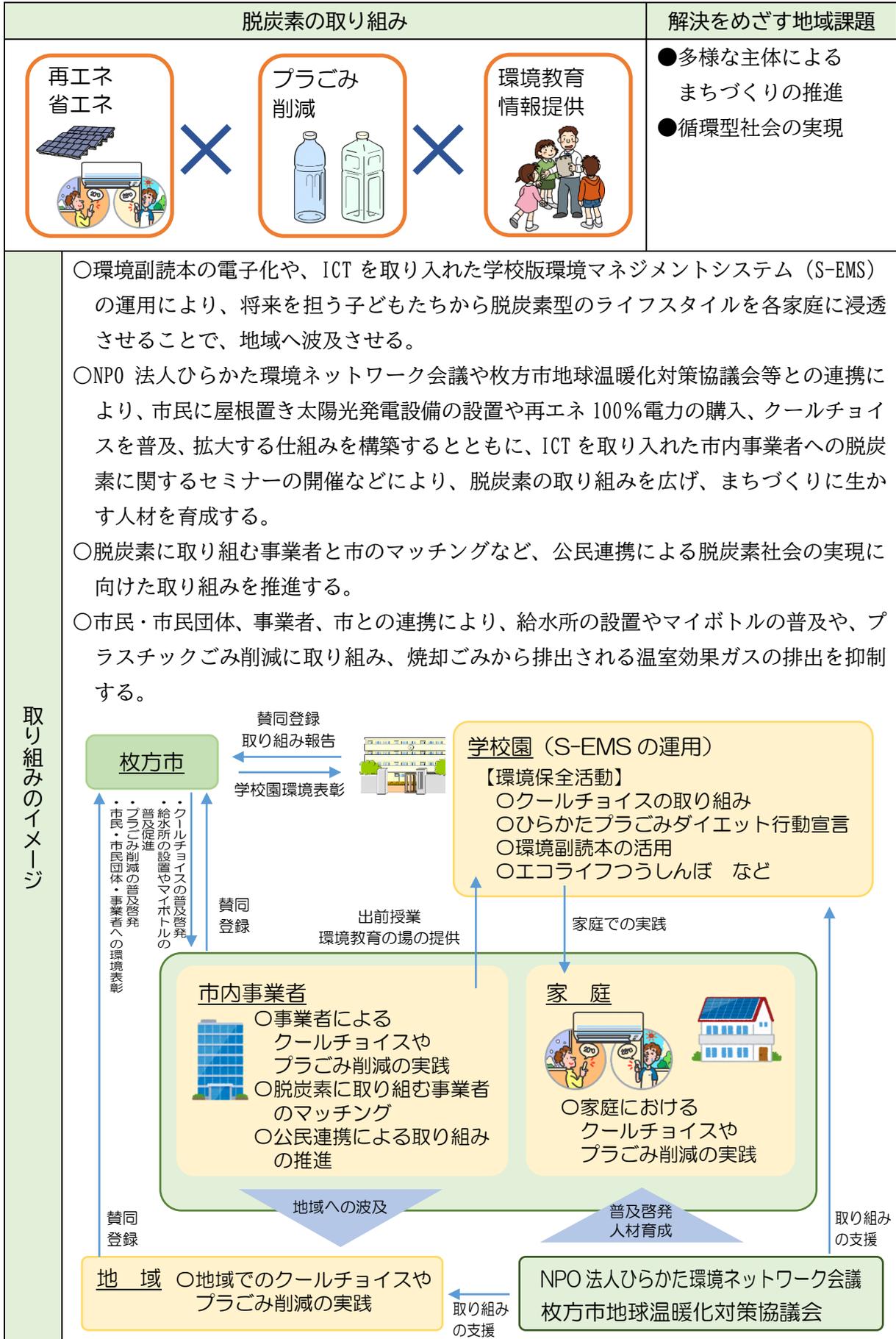


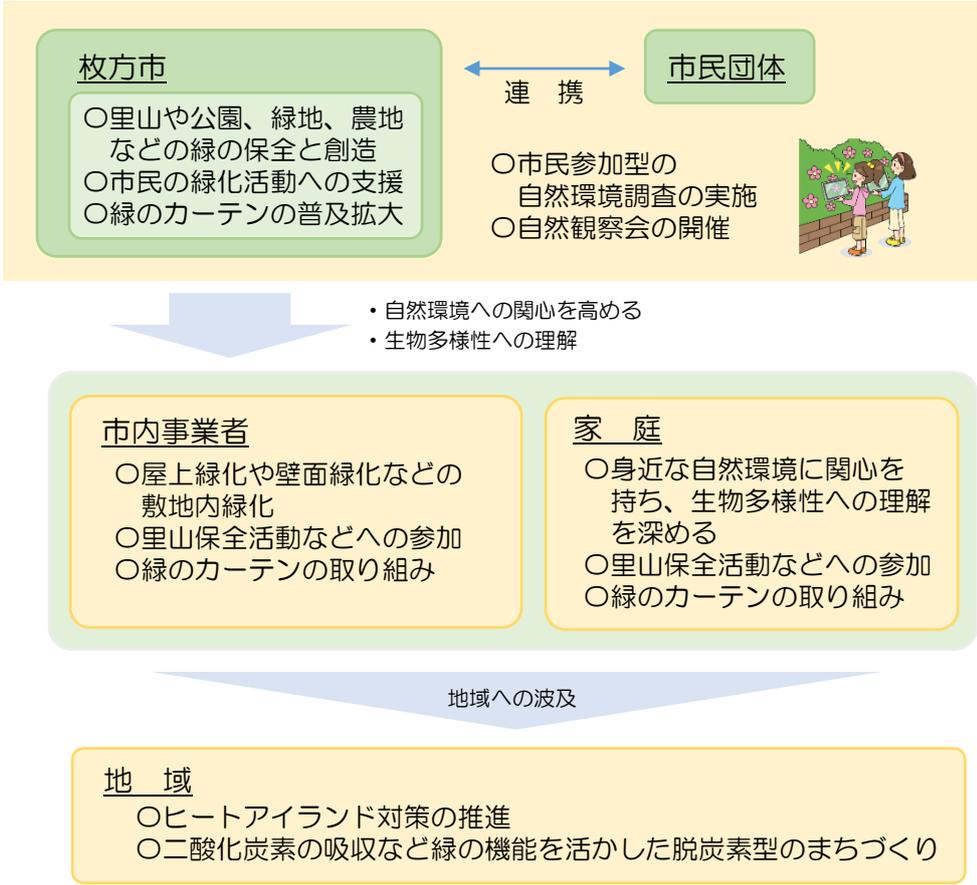
4.5 各基本方針を横断する基盤的な地域脱炭素の取り組み

令和12（2030）年度の温室効果ガス排出量の削減目標の達成、さらには、2050年カーボンニュートラルを実現するためには、4つの基本方針を踏まえたより具体的な施策を着実に推進していくことが重要となります。そこで、脱炭素と本市が抱える地域課題の同時解決をめざす「ネット・ゼロシティ Hirakata style」として、市民・市民団体、事業者、市との連携による各基本方針を横断する基盤的な地域の脱炭素の取り組みを推進します。まずは、「市域で再生可能エネルギーをつくる」、「市民・事業者が再生可能エネルギー由来のエネルギーを使う」、「省エネやゼロカーボン・ドライブなどを**実現する**」といった3つの取り組みを先行し、これらを市域に浸透させていくことでカーボンニュートラルに向けた取り組みを具体化します。また、全国各地で広まりつつあるカーボンフリー水素の取り組みやCO₂吸収技術など、脱炭素化につながる新たな技術等の事例やまちなか緑化の効果などを「温暖化対策に関するポータルサイト」等で、広く情報発信していきます。

■主な取り組み内容





脱炭素の取り組み		解決をめざす地域課題
<p>まちなか緑化 生物多様性</p> 	<p>環境教育 情報提供</p> 	<p>●多様な主体による まちづくりの推進</p>
<p>取り組みのイメージ</p>	<p>○市民参加型の自然環境調査や、市民団体等との連携による自然観察会を通して、身近な自然環境に関心を持ち、生物多様性への理解を深めるとともに、ヒートアイランド対策や二酸化炭素吸収量増加など脱炭素にもつながるまちなか緑化を推進する。</p> <p>○脱炭素経営やまちなか緑化に取り組んでいる事業者の取り組み事例を市の SNS 等を活用して周知することで、その取り組みを他の事業者へ広げるとともに、市民には、環境に配慮した事業者を選択できる機会を創出する。</p>	
	 <p>枚方市</p> <ul style="list-style-type: none"> ○里山や公園、緑地、農地などの緑の保全と創造 ○市民の緑化活動への支援 ○緑のカーテンの普及拡大 <p>市民団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民参加型の自然環境調査の実施 ○自然観察会の開催 <p>連携</p> <p>・自然環境への関心を高める ・生物多様性への理解</p> <p>市内事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ○屋上緑化や壁面緑化などの敷地内緑化 ○里山保全活動などへの参加 ○緑のカーテンの取り組み <p>家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近な自然環境に関心を持ち、生物多様性への理解を深める ○里山保全活動などへの参加 ○緑のカーテンの取り組み <p>地域への波及</p> <p>地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ヒートアイランド対策の推進 ○二酸化炭素の吸収など緑の機能を活かした脱炭素型のまちづくり 	